



背景・目的

- 複雑化、深刻化する途上国における環境問題への対処には、我が国のこれまでの経験や技術を活かした環境分野での支援が求められている。
- 2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のもと、具体的な技術協力等を進めるとともに、日中韓やASEAN等の枠組みを活用し、途上国の環境問題解決と我が国の外交の戦略的推進に貢献。

具体的な施策

- 途上国におけるSDGs実施支援
- 日ASEAN環境協力対話・東アジア首脳会議（EAS）環境大臣会合
- **持続可能な開発のための2030アジェンダの実施に係る協力**
- **日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）及びTEMMプロジェクトの推進**
- 二国間協力等の推進

重点項目

- **持続可能な開発のための2030アジェンダの実施に係る協力**
 - 東アジア首脳会議（EAS）の枠組を活用し、東アジア各国のアジェンダへの取組の分析や目標設定の考え方等の整理を行いつつ、我が国が強みを持つ低炭素技術や廃棄物・リサイクル等の分野において、効果的な支援を行うための戦略を検討。

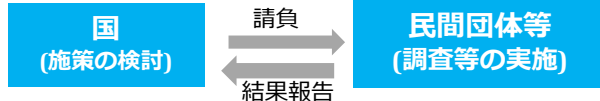
イメージ

【平成29年度の実施内容】

- ① 持続可能な開発のための2030アジェンダへの東アジア各国の取組や分析・目標設定の考え方などの調査
- ② 以下の観点からの効果的な支援のための戦略の検討
 - 東アジア首脳会議（EAS）の枠組みの活用
 - 各国のニーズ・目標等を踏まえた日本が強みを持つ分野・技術の活用・普及
 - “都市”に着目した先進国と途上国の連携・支援、都市間ネットワークの構築
 - 米国等のEAS加盟国/都市や国際援助機関との連携・強調 など

平成29年度以降の本格的な協力の実施へ

事業スキーム



期待される効果

- 我が国の国際的な環境協力を進めるため、アジアにおける様々な協力を統合的に推進し、環境協力を牽引するとともに、環境国際協力の戦略的な推進方策の検討及び具体化を推進。

日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）及びTEMMプロジェクトの推進

- 三カ国の環境大臣が、地域及び地球規模の環境問題に関して率直な意見交換を行い三カ国の協力関係を強化することを目的として、1999年より毎年持ち回りで開催。
- 平成29年度のTEMM19は、韓国で開催予定。
- 前回TEMM18で、共同コミュニケを採択。



日本：環境省

中国：環境保護部

韓国：環境部

日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）

環境協力に係る日中韓三カ国行動計画のもとでの活動（抜粋）

- ・ 大気汚染に関する三カ国政策対話
- ・ 大気に関するワーキンググループの開催
- ・ 日中韓生物多様性政策対話
- ・ 化学物質に関する政策ダイアログ
- ・ 3R及び電子電気機器廃棄物の越境移動に関する三カ国セミナー
- ・ 気候変動対策
- ・ 海洋ごみに関する三カ国ワークショップ
- ・ 日中韓環境教育ネットワーク（TEEN） ・ ユースフォーラム
- ・ 合同環境研修 ・ 地方環境政策対話
- ・ 日中韓三カ国環境ビジネス円卓会議 等